

長崎県子連NEWS

あすをひらく子ども会

長崎県子連ニュース No.46

2023年(令和5年)3月

発行／一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会

〒850-0029 長崎市八百屋町36(長崎県教育会館内) TEL・FAX095-827-4574

URL <https://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail kdm42@axel.ocn.ne.jp

令和4年度第53回 九州地区子ども会育成研究協議会 長崎大会終わる

～みなさんへ感謝とお礼～

一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会 会長 北御門 長蔵



令和4年度第53回九州地区子ども会育成研究協議会が、11月12日(土)、13日(日)に長崎市で開催されました。

九州各地から多くの子ども会関係者が集い、心配された新型コロナウイルス感染症に対しても、対策・対応についての十分なご理解とご協力をいただきながら、何とか無事に終了することができました。

本大会では、テーマを「長崎発//子ども会の復活を目指して」～コロナ禍の今、私たちにできること～と設定しました。

これは、今一度、新型コロナウイルス感染症についての正しい理解を深めたい。ウィズコロナ時代の子どものあり方について真剣に語り合いたいという、大きく二つのことを願って設定したものです。

記念講演では、長崎大学副学長(新型コロナウイルス感染症感染対策担当)、長崎大学病院感染制御教育センター長の泉川公一教授から、「新型コロナウイルス感染症～今までと今後～」と題しまして、たくさんの写真と映像を紹介しながら、お話をいただきました。

医療の第一線でコロナに関わられている先生から、専門的な内容や具体的な予防策、対応策まで説明していただき、コロナに対する認識を深めることができました。

九州大会のメインである研究協議会では、コロナ禍での子ども会をふり返り、困ったこと、できたこと、やりたいこと等について、参加者全員が互いの考えや実践を語り合い、学び合うフリップ式ディスカッションを取り入れました。

どの部会においても活発に熱く語る姿が見られ、「九州はひとつ」のこたばをあらためて実感することができた次第です。

さらに、それぞれの各部会の協議の様子や内容についての報告と、全子連からの指導助言で構成された全体会では、コロナ禍というこれまで経験したことがな

い体験を通し、今こそ原点に立ち返って、互いに智慧を出し合い、子ども会を盛り上げていくことを確認しました。

また、大会の1日目、2日目ともにオープニングには、小学生のアトラクションで花を添えていただきました。

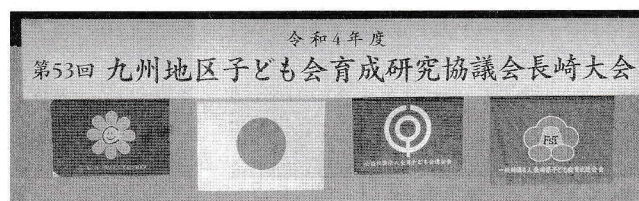
長崎らしさを味わっていただきたいとの思いから、『長崎くんち』の演し物に取り組んでいる長崎市立桜町小学校、諏訪小学校のみなさんに、「本踊り」と「鯨太鼓」をそれぞれ披露していただきました。

「長崎情緒にあふれ、子どもたちの尊さを感じた。」「伝統文化に触れて涙が出た。」「生の子どもの元気な姿に感動した。」など、お褒めのこたばを多くいただき、後日、両校には感謝状を贈らせていただいたところです。

8年ぶりの長崎大会ということで、皆様にはいろいろと行き届きの点があったかと思いますがお許しいただき、この長崎大会で感じたり、気づいたり、学んだりしたことを、それぞれの子ども会活動に取り入れ、実践されることを願っております。

最後になりましたが、長崎市子ども会育成連合会を中心に、近郊の6市3町の子ども会連合会(連絡協議会)で実行委員会を組織し、企画から準備、そして当日の運営まで、おもてなしの心で大会を支えていただいたスタッフの皆様には心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

次回は、熊本県での開催となります。熊本大会のご盛會と九州地区子ども会育成研究協議会のますますの発展と、子ども会に携わる皆様のご健勝ご活躍を祈念いたします。



令和4年度第53回 九州地区子ども会育成研究協議会長崎大会 ～1日目～

九州地区子ども会育成研究協議会が、長崎市民会館を主会場に3年ぶりに開催されました。九州各県から子ども会に携わっていらっしゃる皆様、約270名が参加いたしました。

長崎市で開催されるのは8年ぶりということで、子ども会の状況も当時と今とではずいぶん変わってきておりますが、県内から約60名がスタッフとして運営にあたりました。

今回は、特に新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらの開催でした。事前に、すべての参加者の皆様に健康確認シートを記入していただくとともに、当日朝の検温と抗原検査を実施していただきました。

おかげさまで体調を崩されたり具合が悪くなったりする方は一人もいませんでした。

大会の様子について写真を中心に紹介します。



本踊り(桜町小学校)



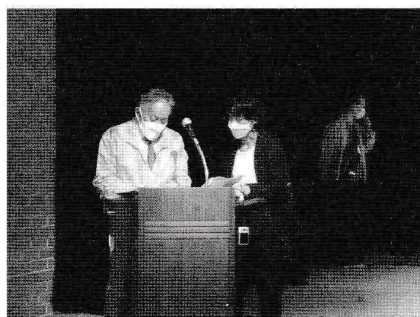
開会式

大会1日目(11月12日)

11:00 ～ 11:30	部会担当者打合せ会
11:30 ～ 12:30	昼食(大会役員・部会担当者)
12:00 ～ 12:40	受付
12:40 ～ 13:00	オープニング
13:10 ～ 14:10	開会行事(開会式・表彰式)
14:30 ～ 16:45	研究協議会(各会場)
18:30 ～ 20:30	情報交換会(ホテルニュー長崎)



受付スタッフのみなさん



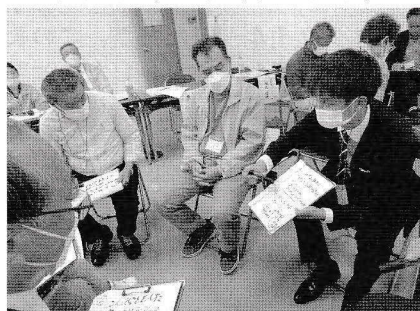
総司会(三浦長崎市子連会長)



表彰式



来賓のみなさん



第1部会



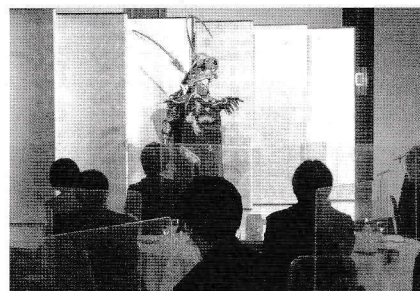
第2部会



第3部会



第4部会



情報交換会のオープニングを飾った変面ショー

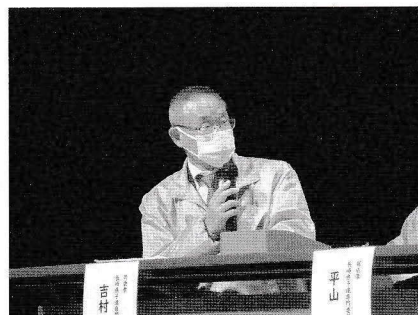
令和4年度第53回 九州地区子ども会育成研究協議会長崎大会 ～2日目～



鯨太鼓(諏訪小学校)



記念講演 泉川公一 教授



全体会司会 吉村正春 県監事

大会2日目(11月13日)

9:00 ～ 9:20

アトラクション

9:30 ～ 10:30

記念講演

演題:『新型コロナウイルス感染症 ～今までと今後～』

講師:長崎大学副学長(新型コロナウイルス感染症感染対策担当)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野 教授

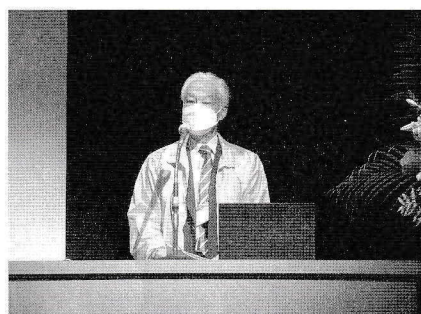
長崎大学病院 感染制御教育センター センター長 泉川 公一 教授

10:40 ～ 11:20

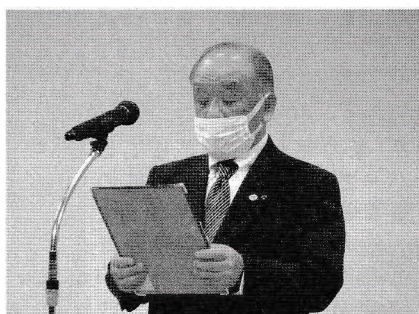
全体会(部会報告・大会宣言文採択)

11:30 ～ 12:00

閉会行事(閉会式・大会旗引継ぎ)



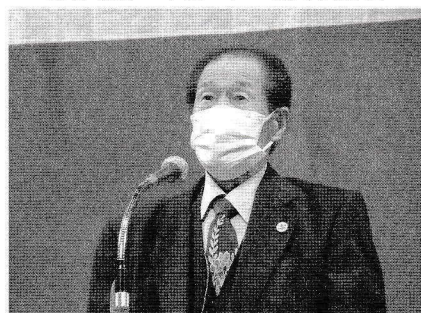
部会報告 平山 仁 県専門委員



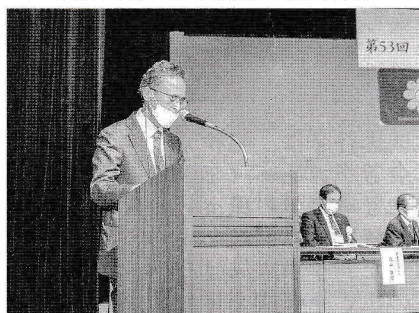
大会宣言 山下徳美 県副会長



指導助言 河本 功 全子連監事



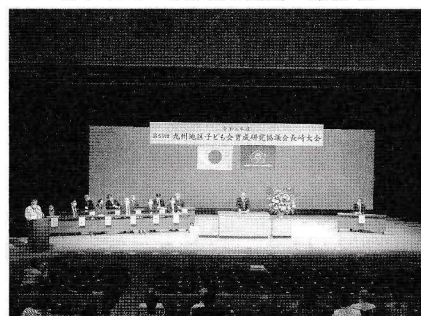
あいさつ 北御門長蔵 県会長



閉会式 久米 直 県副会長



手作りの看板



閉会式



会場の様子



次回開催県は、熊本県です。

令和5年11月11日(土)

12日(日)

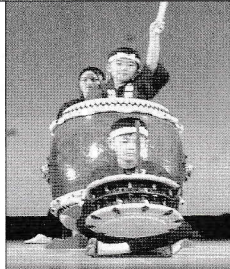
令和4年度 長崎県子ども会伝承芸能大会 in 南島原市

昭和54年に始まり本年度で42回目を数える長崎県子ども会伝承芸能大会が、令和5年1月29日(日)、南島原市ありえコレジヨホールにおいて開催されました。市内はもとより県内各地から約120名の参観者がありました。開催にあたっては、地元南島原市子ども会育成連絡協議会ならびに南島原市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。出演団体には県子連会長から賞状と記念品が贈られました。

和太鼓 (飛龍・満天・和魂) (和道・深江太鼓 わんぱく太鼓会)



深江太鼓は、1428年当時の深江城8代当主が諏訪神社を建立した際、奉納太鼓として打ち鳴らされていたのが起源といわれています。その後、紆余曲折を経て1987年和道・深江太鼓 わんぱく太鼓会が結成されました。



県教委生涯学習課
山崎 由美 課長

坂上下浮立 (北有馬町郷土芸能保存会 (坂上下地区))



昭和55年、北有馬郷土芸能保存会が結成され、現在は毎年6地区(田平・谷川・今福・西正寺・坂上下・折木)のうち1地区が担当となり、春日神社の大祭で五穀豊穡の願いを込め、浮立を奉納します。独特の伝統衣装に身を包み、笛に合わせて流れるように踊り、太鼓をたたき演舞します。

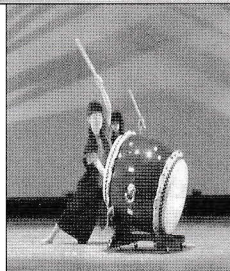


南島原市教育委員会
五島 裕一 教育次長

和太鼓 (布津無双鼓坊主)



昭和61年「豪力無双太鼓」として5人のメンバーで発足後、伝統芸能の創造、後継者の育成、伝統行事・文化の復興・伝承のため、一生懸命汗を流すことを心がけてきました。平成5年、「布津無双太鼓継承会」と改名し、翌年には、子どもチームを結成しました。

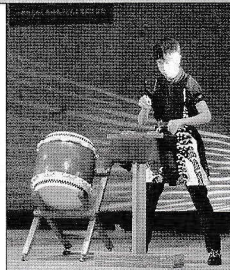


賞状・記念品贈呈

瀬詰太鼓 (瀬詰太鼓保存会 子供太鼓)



瀬詰太鼓保存会は、昭和53年口之津町商工会若手メンバーを中心に地域の活性化と口之津の風土を表現した新たな伝統文化の創造を目的に結成されました。子供太鼓は、昭和58年に地域の担い手育成を目的として創設されました。



南島原市教育委員会
岡野 俊作 課長

ひょっとこ踊り (笑友会と若木ひょっとこ連)



加津佐町では、ひょっとこ踊りの好きなメンバーが集まり、平成14年に加津佐ひょっとこ連笑友会が発足。若木保育園では、平成16年7月に笑友会協力のもと活動が始まりました。現在まで、社会福祉施設への慰問やお祭り等の各種イベントに参加しています。



南島原市子連
大野 貴博 会長

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔大村市大会〕

- 1 日 時 令和5年2月19日(日)
13:30 ~ 16:30
- 2 会 場 大村市コミュニティセンター
- 3 内 容 ①県子連表彰式
②開会行事
③実践事例発表
④研究協議会
⑤指導助言
⑥講評
⑦閉会行事



開会式



県子連表彰式



開会あいさつ
会長 北御門 長蔵



県生涯学習課
参事 西平 耕治 様



大村市教育委員会
教育長 遠藤 雅己 様

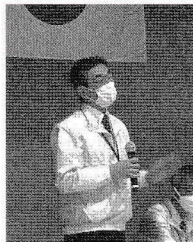
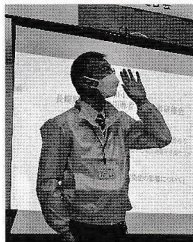
研究協議会

研修テーマ

「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう
～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

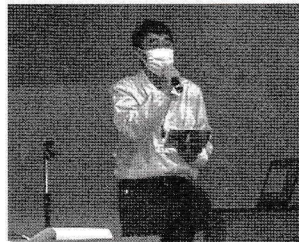
☆実践発表

- ① 大村市子連 谷村隆哉 様 本村末好 様



子ども会行事に参加する子どもたちの笑顔のために大村市子連として、素早い対応・判断力・柔軟性・行動力・指導力の向上を目指します。

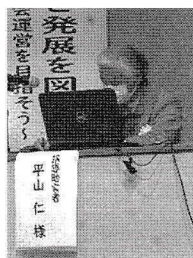
- ② 竹松小学校区連 朝長 誠 様



子ども会が目指すものは、地域とのつながりです。子どもの育ちにとって本当に大切なものを見極める力と覚悟が大人に求められる時代になりました。

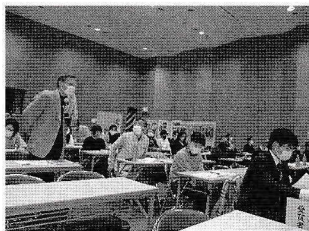
☆指導助言

県子連専門委員 平山 仁 先生
子ども会は地域を支える貴重な組織です。子ども会を中心に街づくりに取り組んでいきましょう。単位子ども会の活性化がスタートとなります。まずは、親も子も楽しむことをいちばんに考えましょう。



☆講評

大村市教委 中央公民館 館長 南 領一 様
子ども会での体験は、大人になってからも強く印象に残っています。将来に向けての人生のきっかけづくりです。今こそ、子ども会にエールを送りたいと思います。



フロアーから



大村市
会長 川竹 成稔



スタッフのみなさま

令和2・3・4年度 子ども会表彰 受賞者一覧表(その1)

1 全国子ども会育成連合会表彰

〔 団 体 〕

地区	団 体 名	代表者名	活動年数	受賞年度
諫 早 市	原口町子ども会	林 田 晴 美	55年	令和 2年度

〔 個 人 〕

地区	氏 名	団体名および役職名	活動年数	受賞年度
諫 早 市	小 川 供 孝	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	49年	令和 3年度
長 崎 市	加 藤 由美子	長崎市福田中学校区青少協事務局長	25年	
諫 早 市	深 川 久美子	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	44年	令和 4年度
大 村 市	楠 本 修	大村市子ども会育成連合会監事	26年	

2 九州地区子ども会育成連絡協議会表彰

〔 個 人 〕

地区	氏 名	団体名および役職名	活動年数	受賞年度
長 崎 市	大 岩 道 子	小ヶ倉中学校区青少年育成協議会会長	24年	令和 2年度
諫 早 市	中 溝 文 明	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	32年	
佐世保市	薬師寺 和 弘	佐世保市子ども会育成連絡協議会会長	18年	
長 崎 市	松 尾 陽 子	西浦上小学校区青少年育成協議会事務局長	26年	令和 3年度
	濱 辺 廣 明	小ヶ倉中学校区青少年育成協議会事務局長	23年	
諫 早 市	川 口 真奈美	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	18年	令和 4年度
長 崎 市	垣 内 一 幸	長崎県子ども会育成連合会監事 丸尾中学校区青少年育成協議会会長	34年	
	片 岡 テルミ	長崎市子ども会育成連合会専門委員	23年	
諫 早 市	田 中 政 博	諫早市子ども会育成連合会 事務局長・諫早支部副会長	16年	
大 村 市	野 田 孝 則	大村市子ども会育成連合会役員	20年	
長 与 町	堀 川 政 則	長与町子ども会育成連絡協議会副会長	29年	

令和2・3・4年度 子ども会表彰 受賞者一覧表(その2)

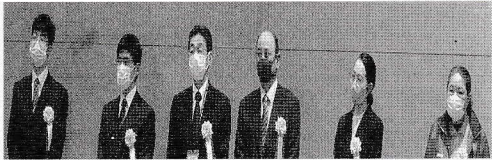
3 長崎県子ども会育成連合会表彰

〔 団 体 〕

地区	団 体 名	子ども会代表者名 育成会代表者名	発 足 活動年数	受賞年度
川 棚 町	上百津育成会	川 津 沙 裕	昭和26年	令和 2 年度
		川 津 大 輔	69年	
	木場子供会	山 川 芽 依	昭和26年	
		山 川 祥 太	69年	
長 与 町	北陽台子ども会	貝 田 美 優	平成28年	令和 3 年度
		原 田 鉄 平	5 年	
川 棚 町	猪乗子供会	長谷川 功 織	昭和26年	
		長谷川 龍 治	70年	
	三越子供会	森 幹 喜	昭和26年	
		森 繁 喜	70年	
	惣津子供会	松 岡 篤	昭和26年	
		松 岡 佐菜美	70年	



おめでとうございます!!



〔 個 人 〕

地区	氏 名	団体名および役職名	活動開始 活動年数	受賞年度
川 棚 町	岩 永 哲	川棚町子ども育成会連絡協議会育成者	平成17年 15年	令和 2 年度
長 与 町	半 田 久 代	長与町子ども会育成会連絡協議会役員	平成18年 14年	
	田 中 直 登	長与町子ども会育成会連絡協議会 専門指導員・理事	平成14年 18年	
	管 祐一郎	長与町子ども会育成会連絡協議会 専門指導員・理事	平成14年 18年	
諫 早 市	平 山 百合子	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	平成23年 10年	令和 3 年度
	鈴 木 秀 明	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	平成23年 10年	
諫 早 市	宮 崎 雅 之	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	平成24年 10年	令和 4 年度
	立 光 健 作	諫早市子ども会育成連合会専門指導員	平成24年 10年	
大 村 市	谷 村 隆 哉	大村市子ども会育成連合会一般理事	平成24年 10年	
	松 尾 威 男	竹松小学校区連事務局	平成17年 17年	
	加々良 知 美	放虎原小学校区子ども会育成連絡協議会 副会長	平成23年 11年	

令和4年度 市町別加入会員数と加入率

令和5年2月1日現在

市町名	単子数	加入会員数(人)						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	高校生	指導者 育成者	合 計	未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	小中計
県 計	1,472	2,453	27,370	4,993	313	21,198	56,327	4.5%	40.8%	14.3%	31.7%
長 崎 市	173	261	4,028	396	46	2,072	6,803	1.7%	20.8%	4.0%	15.1%
佐世保市	206	305	4,878	605	5	3,304	9,097	2.9%	37.5%	9.0%	27.8%
島 原 市	132	288	2,248	250	9	2,713	5,508	15.9%	97.2%	22.2%	72.6%
諫 早 市	170	282	3,377	727	0	2,547	6,933	4.5%	45.6%	17.7%	35.6%
大 村 市	57	109	859	130	28	794	1,920	1.9%	13.5%	4.3%	10.6%
平 戸 市	89	122	1,026	276	6	836	2,266	11.1%	72.8%	38.7%	61.3%
松 浦 市	58	73	704	257	17	793	1,844	9.3%	61.5%	44.9%	56.0%
対 馬 市	15	1	251	129	0	181	562	0.1%	19.2%	18.0%	18.8%
壱 岐 市	19	15	833	167	0	163	1,178	1.7%	62.2%	23.0%	48.4%
五 島 市	49	56	1,040	107	18	591	1,812	4.7%	70.0%	13.6%	50.5%
西 海 市	61	142	1,024	456	20	1,035	2,677	15.2%	86.6%	76.1%	83.1%
雲 仙 市	102	256	1,493	371	0	1,803	3,923	15.8%	72.0%	35.8%	60.0%
南島原市	144	135	1,615	59	9	1,665	3,483	9.1%	82.7%	5.8%	56.2%
市 計	1,275	2,045	23,376	3,930	158	18,497	48,006	4.2%	38.8%	12.6%	29.9%
西彼杵郡											
長 与 町	26	24	711	13	0	171	919	1.2%	30.4%	1.2%	20.9%
時 津 町	25	173	942	76	0	541	1,732	10.9%	54.2%	5.4%	32.3%
東彼杵郡											
東彼杵町	20	18	290	51	0	180	539	7.6%	71.3%	26.7%	57.0%
川 棚 町	32	42	611	281	8	691	1,633	7.7%	91.1%	80.3%	87.4%
北松浦郡											
小値賀町	17	20	84	37	15	37	193	30.3%	91.3%	86.0%	89.6%
佐 々 町	24	64	798	309	0	562	1,733	7.5%	80.6%	75.9%	79.2%
南松浦郡											
新上五島町	52	67	558	296	131	513	1,565	13.5%	93.8%	79.4%	88.2%
郡 計	196	408	3,994	1,063	154	2,695	8,314	7.0%	58.5%	27.2%	47.1%
※事務局	1	0	0	0	1	6	7	算出基準の未就学児・児童・生徒数は、 令和4年度長崎県統計による			
合 計	1,472	2,453	27,370	4,993	313	21,198	56,327				

※ 長崎県子連会員数の推移

年 度	単子数	加入会員数(人)						加入率〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	育成者	合 計	未就学児	小学生	中学生	小中計
R 4 年度	1,472	2,453	27,370	4,993	313	21,198	56,327	4.5%	40.8%	14.3%	31.7%
R 3 年度	1,523	2,712	29,133	5,254	319	22,210	59,628	4.7%	42.8%	14.8%	33.3%
R 2 年度	1,595	2,968	31,290	5,667	283	23,478	63,686	4.7%	44.8%	15.9%	35.0%
R 1 年度	1,716	3,517	34,013	6,254	319	25,837	69,940	5.6%	48.3%	17.4%	37.8%
H30年度	1,779	3,579	35,567	6,690	315	26,850	73,001	5.5%	49.9%	18.3%	39.2%
H29年度	1,819	3,682	36,713	7,144	357	27,818	75,714	6.0%	51.0%	19.0%	40.0%
H28年度	1,879	3,870	38,686	7,950	438	29,007	79,951	6.0%	54.0%	21.0%	42.0%
H27年度	1,927	3,704	40,139	8,591	433	29,922	82,789	5.0%	56.0%	23.0%	44.0%